

早稲田学区における献血活動報告

7月12日に早稲田学区献血推進協会主催による献血活動を早稲田公民館で行いました。

新型コロナ禍で輸血用血液不足が深刻になり喫緊の課題となっている現状です。



実施に当たっては、消毒の徹底・検温・マスクの着用・ソーシャルディスタンスを保つ会場設営や誘導などに配慮しました。梅雨の豪雨が心配され、自粛ムードにもかかわらず参加者97人(献血者77人)と昨年をはるかに上回る多くの方にご協力をいただきました。

主催者一同心より感謝を申し上げます。

運営委員 荒巻誠次



こむねっとひろしま 検索

早稲田社協 ホームページ

地域ポータルサイト こむねっとひろしま

東区 早稲田学区

スマホの方はこちらのQRコードでもご覧いただけます♪
<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/02waseda/>

2020.9
(令和2年9月)
発行部数 2600部

<編集・発行>早稲田学区社会福祉協議会 〒732-0063 広島市東区牛田東二丁目12-23 早稲田集会所2F TEL082-225-3685

おっくまっくまっ...!されどっくまっ!...まだっくまっ???

2月3月4月5月6月...7月...そして8月。

新型コロナ感染予防の毎日で、早稲田学区の各体操サロンも中止や、内容変更を担当者の皆さんは頭を抱えながら、それでもいろいろな工夫をしながら高齢者の健康維持のためいろいろな形で体操を行っています。

100歳体操を続けているサロン、ラジオ体操やウォーキングを推奨しているサロン... 社協や公民館や各団体の行事も変更や人数制限などをされています。

情報を確認して、コミュニケーションをとりながら

筋力を落とさないよう
元気に過ごしましょう!
9月10月...冬の季節
投薬やワクチン
出来ているかな?



いきいきサロンよりみち

「歌って踊って心も体もリフレッシュ!」

7月15日(水) 早稲田公民館 参加者14名



コロナ対策として手はアルコール消毒をし、顔にはマスクをして隣席ともそれなりの空間を設けて着席して、いよいよ開始です。「おどり大好き人間」と言われる小林妙子親子を講師に迎えました。講師の両手の動き、体全体を使った踊りに合わせて懐かしい曲「あこがれのハワイ航路」「ソーラン節」「演歌」など椅子に掛けたままや立ち姿になったりして健康体操もまじえながら体を動かしました。水分補給の休みを入れながらも実に心身に充実した楽しいひと時でした。 東2丁目 野口 日出男

早稲田集会所の利用方法が変わりました

- 集会所の使用は予約申込制で、原則先着順です。
- 使用の申し込みは1ヶ月前から受け付けます。

詳しい利用方法についてのお問合せ、予約のお申し込みは早稲田集会所へ!

住所：広島市東区牛田東2丁目12-23
電話：082-223-7790

- ・予約のお申し込みは、早稲田集会所事務室(2階)までお願いします
- ・受け付けは原則平日の9:00~12:00です。

<注意(お願い)>
学区内において、豪雨・地震等で集会所に避難所が開設された場合、また、葬儀が行われる場合は使用の許可を取り消します。(使用中の時は速やかに中止・退去をお願いします。使用料は返却します。)この場合必要であれば再度使用日程の変更を申し出てください。

- (注1): 使用料は、冷暖房費を含んだ料金です。
- (注2): 使用区分の「社協傘下団体」とは、早稲田学区社会福祉協議会の構成団体ほか集会所運営委員会が承認決定された団体です。
- (注3): 使用区分の「地域」とは、前記「社協傘下団体」以外の団体、個人です。

使用区分	使用場所	1時間の使用料(注1) (使用時間は1時間単位)	
社協傘下団体 (注2)	ホール(1F)	400円	
	松の間(2F)	260円	330円
	梅の間(2F)	200円	
	談話室	150円	
地域 (注3)	ホール(1F)	460円	
	松の間(2F)	300円	380円
	梅の間(2F)	230円	
談話室	230円		
その他 (塾、マヨ、地域外)	ホール(1F)	530円	
	松の間(2F)	360円	450円
	梅の間(2F)	270円	
	談話室	270円	
営利を目的とする業者	ホール(1F)	1,030円	
	松の間(2F)	700円	870円
	梅の間(2F)	510円	
葬儀	談話室を除く全室	10,000円/1日	

早稲田学区における新型コロナウイルス対策のための避難のポイント

早稲田社協のホームページでも避難ガイドを掲載しています

早稲田学区自主防災連絡協議会は、7/18(土)緊急避難場所(※1)である早稲田集会所と早稲田公民館で避難所開設訓練を行いました。そこで確認した避難のポイントをご紹介します。

1 避難所への受け入れは、一般避難者(※2)、体調不良者(※3)のみ
○新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者は避難所での受け入れはしません。
○新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者は広島市で管理します。

2 早稲田集会所と早稲田公民館を同時に開設
○一般避難者は早稲田公民館、体調不良者は早稲田集会所で受け入れます。
○体調不良者を施設で明確に分けることで避難への不安を取り除きます。

- (※1)緊急避難場所とは、災害の危険性が高まった時に、命を守るために一時的に避難する施設のことです。災害で自宅が被災した場合に、一定期間、避難生活を送るための施設は「指定避難所」といいます。
- (※2)一般避難者：ウイルス感染者、濃厚接触者でなく、健康に特に問題がない避難者。
- (※3)体調不良者：高熱がある、呼吸器や味覚に異常があるなど体調不良で感染の疑いがある避難者。

3 避難所では新型コロナウイルス対策を徹底
○避難者同士の距離の確保、換気、消毒などの衛生管理を徹底



4 分散避難を呼びかけ避難所の来場者を減らす
○新型コロナウイルス対策で避難所の収容人数は低減します。
○マンションでの在宅避難を含めた避難所以外での避難を推奨します。
○車中泊も推奨し、情報提供や安否確認などできるだけ支援を行います。



5 避難所での生活をできるだけ安心なものとする

- 公民館では床面ウイルス対策のエアベッドや飛沫防止の目隠し TENT を設置。
- 集会所ではペットの同行避難者など2階の各室を活用して様々な条件の避難者に備えます。

